

令和 2 年度学校教育教員養成課程

(推薦入試Ⅱ型)

小学校教育専修・中学校教育専修 社会科教育コース

小論文

表 紙

[解答上の注意]

- 1 試験開始後、表紙 1 枚、問題用紙 2 枚、解答用紙 1 枚、下書き用紙 1 枚があるか、確認しなさい。
もし欠落がある場合には挙手し、申し出なさい。
- 2 解答用紙の受験番号欄に、受験番号を記入しなさい。
- 3 試験終了後は解答用紙のみを回収します。表紙・問題用紙・下書き用紙は各自持ち帰りなさい。

令和 2 年度学校教育教員養成課程
(推薦入試Ⅱ型)
小学校教育専修・中学校教育専修 社会科教育コース
小論文
問題用紙 全 2 枚 (その 1)

問題

問題用紙その 2 の図は、電気冷蔵庫（ガス冷蔵庫を含む）と電気洗濯機とについて、1959 年・1964 年・1969 年における各都道府県の「1000 世帯あたりの所有数量」を示したものです（「全国消費実態調査」により作成。凡例は共通。米軍政下の沖縄は調査の対象外のため図示していない。また南西諸島も省略した）。

この図を見て次の問 (1)・(2) に答えなさい。

(1) 電気洗濯機は家庭生活および社会全体にとってどのような意味を持つ製品か、下の冷蔵庫の例にならって説明しなさい。

例：常温では長期間保存できない食品（特に肉・魚類や冷凍食品）が、冷蔵庫により家庭内で保存できるようになる。そこで冷蔵庫が一般家庭に普及することにより、食生活の幅がひろがりうるようになった。さらに、必ずしも冷蔵を要しない食品でも長期保存が可能になれば買い置きが可能になり、自家用車の普及と併せて、郊外のスーパーでのまとめ買いなど日用品の購買行動が変化し商店街の盛衰の一因となった。

(2) 各家電製品の「1000 世帯あたりの所有数量」をそれらの普及率と見なし、それらの製品がこの図の期間に日本においてどのように普及していったか、説明しなさい（その際、時期的な変化や場所による違い、製品による違いなど、図から読み取りうる具体的な事実も指摘すること）。さらに、そのように普及した要因として考えられることを述べなさい。

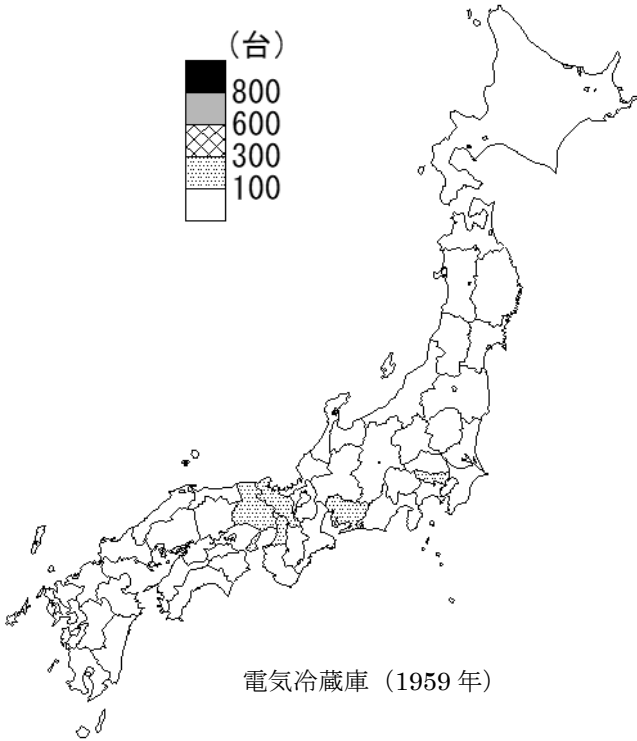
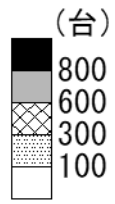
令和2年度学校教育教員養成課程

(推薦入試Ⅱ型)

小学校教育専修・中学校教育専修 社会科教育コース

小論文

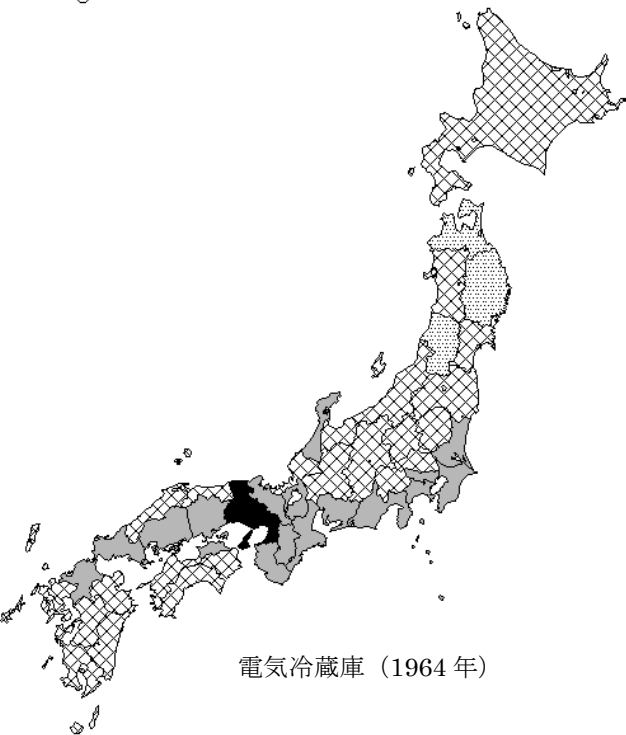
問題用紙 全2枚 (その2)



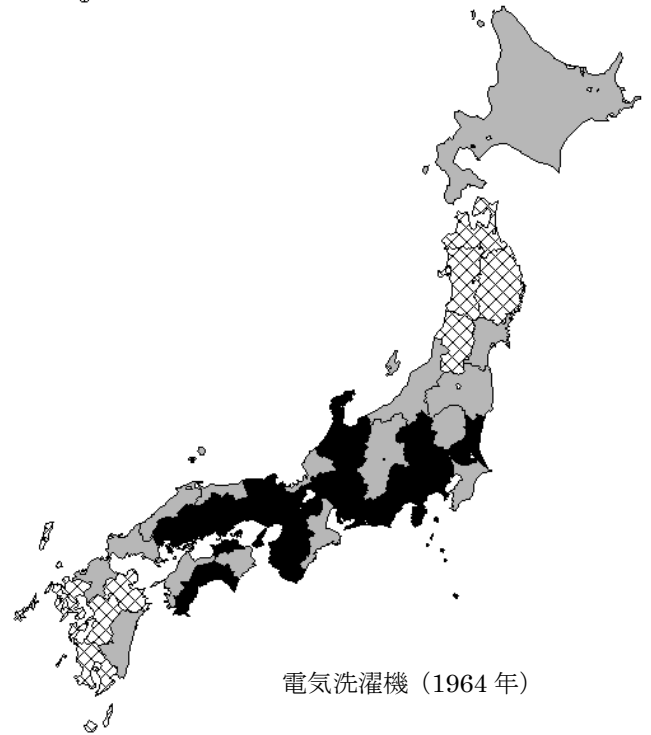
電気冷蔵庫 (1959年)



電気洗濯機 (1959年)



電気冷蔵庫 (1964年)



電気洗濯機 (1964年)



電気冷蔵庫 (1969年)



電気洗濯機 (1969年)